

News Release



令和4年11月21日

各報道機関文教担当記者 殿

「コドモ×アート×マチ ～クリスマスツリーでマチのみんなを元気に！～」

このたび、金沢大学附属小学校2年生、(株)こはく、石川県立図書館、金沢大学附属病院の4者が、【KU5 Project HES0】の一環として、以下の企画を実施することになりました。

ゲストティーチャーとしてアートディレクター・アーティストのえぐちりかさんをお迎えし、図工の授業を行います。児童は、えぐちりかさんの著書『パンのおうさま』の絵本の登場人物になりきって、「ゆめのパン」をテーマにクリスマスオーナメントを作ります。クリスマスオーナメントは、石川県立図書館や金沢大学附属病院のクリスマスツリーに飾られ、来館した方々や、患者さん、医療関係者の方々を元気づけます。

なお、前日には石川県立図書館のだんだん広場にて、えぐちりかさんによる絵本の読み聞かせ&講演会も予定されています。

「コドモ×アート×マチ ～クリスマスツリーでマチのみんなを元気に！～」

- 実施日：11月25日（金）10：50～11：30
- 実施場所：金沢大学附属小学校1階体育館（金沢市平和町1-1-15）
- 参加者：附属小学校2年生102名、保護者80名、株式会社電通 えぐちりかさん、職員4名、いしかわまちづくり技術センター職員2名
- 実施内容：児童と保護者によるクリスマスオーナメント制作

つきましては、当日の取材・報道をお願いいたします。

取材の際は、11月24日（木）17：00までに別紙取材申し込みのFAXをお願いします。

【お問い合わせ先】

金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係（担当：寺田）

TEL 076-226-2182 FAX 076-245-8630

e-mail: edfuzo1@adm.kanazawa-u.ac.jp（9：00～17：00）

取材を希望する場合は、本申込書を
11月24日（木）17：00までに
下記の宛先へ送付してください。

金沢大学
人間社会系事務部総務課附属学校事務係
FAX：076-245-8630

申込日：令和4年11月 日

「コドモ×アート×マチ ～クリスマスツリーでマチのみんなを元気に！～」 取材申込書

報道機関名： _____

取材記者名： _____ 様

連絡先： _____ (_____)

同行者（カメラマン等）： _____ 名（上記記者除く）

カメラ等の内訳（台数）： _____

（例）テレビカメラ 1台

日 時：令和4年11月25日（金）10：50～11：30

実施場所：金沢大学附属小学校 1階体育館

（金沢市平和町1-1-15）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、来校の際は、検温の上、マスクの着用
（鼻と口の両方を確実に覆うこと）および手指消毒の励行等にご協力ください。
また、取材記者・同行者数も最小人数をお願いします。

担当：金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係 寺田

TEL：076-226-2182 FAX：076-245-8630

MAIL：edfuzo1@adm.kanazawa-u.ac.jp

(目指すべき理想の姿)

VISION

KU5

学校を拠点に、 新たな価値を創造する

KU5（金沢大学附属5校園）が、地域社会と協働でプロジェクトに取り組みます。プロジェクト誕生の背景には、グローバル化やAIの普及によって今後も不確実性が高まる時代の流れがあります。子どもたちが、予測困難な未来をよりよく生き抜くためには、自ら課題を見つけ、学び、考える力 — さらにAIに頼ることなく自らの判断で行動し、道を切り拓いていく力が必要です。そういった力を、子どもたちの中心（HESO）に育むことを教育機関の使命ととらえ、コラボレーション推進室が学校と地域社会の架け橋となって探究学習＝プロジェクトHESO（へそ）を実行し、新たな価値を創造します。

1



身体や物の「中心」を表すのが「HESO（臍・へそ）」であることからプロジェクト名をプロジェクトHESOとしました。学校を起点としたプロジェクトを通じて、子どもたちの中心（HESO）に新たな力が宿り、成長してほしいという願いが込められています。丸いへそをイメージさせる「O」の文字は、多くの○や△、□で構成され、社会の垣根をなくしてさまざまな人や物が集うプロジェクトの多様性を表現しています。

2

(果たすべき使命)

MISSION

HESOを創る

社会イノベーション創造プログラムの実施

プロジェクトHESOの中心となるのが、年齢に応じた「社会イノベーション創造プログラム」の実施です。5校園に通う3歳から18歳の子どもたちが自ら発見し、感じた実社会の課題に対し、さまざまなパートナー（地域人材・行政機関・一般企業・大学研究室など）の協力を得ながら、解決へのロードマップを子ども自身が模索します。推進室はパートナーの新規開拓や連携調整を行い、子どもたちが主体的に考えて動く「考動体験」を促します。プログラムの進捗状況や実施効果については公開予定のWebサイトにて随時発信予定です。

先端技術・教育データ活用プロジェクト

教員が情報端末において専用のシステムを活用することで、学びを「見える化」。そこで得られた気づきやデータを教育の場の現場にフィードバックします。

3

(プロジェクト内外に約束する価値・行動基準)

VALUE

社会に誇れるストーリーの創造

外部パートナー・教員とともに次の時代の金沢を生み出す人づくり、これまでにない教育モデルの確立を目指します。プロジェクトには、誰もが自由に参加でき、互いの刺激を成長につながります。社会、そして未来に誇れる新しい物語を、私たちと一緒に創り出してください。

4